



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加藤製作所
コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 小西 二郎

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	14,916	△10.3	660	△57.4	1,114	△32.9	699	△22.5
27年3月期第1四半期	16,626	0.8	1,549	70.0	1,662	38.6	903	15.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,138百万円 (47.3%) 27年3月期第1四半期 772百万円 (△44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	11.95	—
27年3月期第1四半期	15.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	102,956		47,142		45.8	
27年3月期	102,372		46,678		45.6	

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 47,142百万円 27年3月期 46,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.50	—	11.50	19.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		9.50	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,000	△3.5	2,800	△29.6	3,300	△28.3	2,200	△24.1	37.54
通期	80,000	△1.0	7,100	△14.3	7,700	△10.7	5,000	△6.0	85.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	58,717,936 株	27年3月期	58,717,936 株
28年3月期1Q	119,967 株	27年3月期	118,902 株
28年3月期1Q	58,598,545 株	27年3月期1Q	58,603,179 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府主導による経済政策を背景として企業収益や雇用・所得環境に改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国経済の減速が東南アジアの景気に影響するなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業環境は、国内の建設用クレーン及び油圧ショベルは、防災・震災復興等のインフラ整備や買い替え需要が堅調に推移しました。海外向けの建設用クレーンは、中国経済の影響による東南アジアの景気減速への警戒感に伴い、需要に弱含みが見られました。中国の油圧ショベルは、地方政府のインフラ整備の抑制等により需要は大幅に減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は149億1千6百万円(前年同期比89.7%)となり、利益につきましては、営業利益6億6千万円(前年同期比42.6%)、経常利益11億1千4百万円(前年同期比67.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億9千9百万円(前年同期比77.5%)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① 日本

日本における建設用クレーン及び油圧ショベルは、防災・震災復興等のインフラ整備や買い替え需要が堅調に推移いたしました。海外向けの建設用クレーンは、新興国の景気減速に伴い、需要に弱含みが見られました。売上高は148億6千4百万円(前年同期比107.9%)となり、セグメント利益(営業利益)は5億5千2百万円(前年同期比63.6%)となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、地方政府のインフラ整備の抑制等により大幅に減少いたしました。売上高は5億9千8百万円(前年同期比15.5%)となり、セグメント利益(営業利益)は1億3千万円(前年同期比21.3%)となりました。

③ その他

平成26年9月に、海外子会社KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. をタイ王国に設立しましたが、現在のところ製造・販売は行っておりません。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内向けは、防災・震災復興等のインフラ整備や買い替え需要で、堅調に推移いたしましたが、海外向けは、東南アジアの景気減速への警戒感に伴い、需要は弱含みが見られ減少いたしました。売上高は112億7百万円(前年同期比109.9%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内向けは、防災・震災復興や解体事業の需要が堅調に推移しましたが、中国は地方政府のインフラ整備の抑制等により需要は大幅に減少いたしました。売上高は34億9千6百万円(前年同期比56.8%)となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高2億1千3百万円(前年同期比78.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第1四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末の1,023億7千2百万円に比べて5億8千4百万円増加し、1,029億5千6百万円となりました。これは主として、棚卸資産の増加61億5千2百万円、有形固定資産の増加9億6千万円、現金及び預金の減少9億6千1百万円、受取手形及び売掛金の減少59億1千9百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期連結累計期間末における負債は、前連結会計年度末の556億9千3百万円に比べ1億2千万円増加し、558億1千4百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加11億9千2百万円、長期借入金金の減少8億8千4百万円によるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末の466億7千8百万円に比べ4億6千3百万円増加し、471億4千2百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定の増加3億9千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間におきまして、国内の建設用クレーン及び油圧ショベルは堅調に推移いたしましたものの、中国における油圧ショベルの売上高が当初予想を大幅に下回る結果になったことなどを踏まえ、平成27年5月12日に公表した平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の予想を下記の通り修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日(平成27年8月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

第2四半期(累計)連結業績予想(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,000	百万円 4,000	百万円 4,300	百万円 2,700	円 銭 46.08
今回発表予想(B)	37,000	2,800	3,300	2,200	37.54
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 1,200	△ 1,000	△ 500	—
増減率(%)	△ 7.5	△ 30.0	△ 23.3	△ 18.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	38,325	3,979	4,601	2,899	49.47

通期連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 83,000	百万円 8,300	百万円 8,900	百万円 5,600	円 銭 95.56
今回発表予想(B)	80,000	7,100	7,700	5,000	85.33
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 1,200	△ 1,200	△ 600	—
増減率(%)	△ 3.6	△ 14.5	△ 13.5	△ 10.7	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	80,779	8,289	8,625	5,317	90.75

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動によ
る差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変
更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる
方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、
前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,609	17,647
受取手形及び売掛金	44,089	38,169
たな卸資産	26,006	32,158
繰延税金資産	1,572	1,587
その他	1,075	982
貸倒引当金	△2,258	△1,919
流動資産合計	89,095	88,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,375	4,853
機械装置及び運搬具(純額)	1,568	1,823
土地	2,734	2,734
建設仮勘定	746	963
その他(純額)	164	175
有形固定資産合計	9,589	10,549
無形固定資産		
無形固定資産	278	294
投資その他の資産		
投資有価証券	1,913	1,980
破産更生債権等	920	907
退職給付に係る資産	—	9
その他	1,495	1,493
貸倒引当金	△920	△907
投資その他の資産合計	3,409	3,484
固定資産合計	13,276	14,329
資産合計	102,372	102,956

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,126	29,318
短期借入金	3,480	3,890
1年内返済予定の長期借入金	7,048	6,868
未払法人税等	1,051	571
賞与引当金	540	298
製品保証引当金	417	514
その他	2,097	2,347
流動負債合計	42,761	43,808
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	9,793	8,908
退職給付に係る負債	25	—
繰延税金負債	965	962
その他	647	634
固定負債合計	12,931	12,005
負債合計	55,693	55,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	32,143	32,169
自己株式	△32	△33
株主資本合計	42,156	42,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	273
為替換算調整勘定	4,372	4,768
退職給付に係る調整累計額	△90	△81
その他の包括利益累計額合計	4,522	4,960
純資産合計	46,678	47,142
負債純資産合計	102,372	102,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	16,626	14,916
売上原価	13,419	12,514
売上総利益	3,206	2,402
販売費及び一般管理費	1,657	1,742
営業利益	1,549	660
営業外収益		
受取利息	7	12
割賦販売受取利息	119	105
受取配当金	7	10
持分法による投資利益	9	19
貸倒引当金戻入額	—	395
製品保証引当金戻入額	71	—
その他	18	15
営業外収益合計	233	560
営業外費用		
支払利息	88	74
為替差損	30	27
その他	2	4
営業外費用合計	120	105
経常利益	1,662	1,114
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,665	1,114
法人税、住民税及び事業税	774	441
法人税等調整額	△11	△27
法人税等合計	762	414
四半期純利益	903	699
親会社株主に帰属する四半期純利益	903	699

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	903	699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	33
為替換算調整勘定	△176	396
退職給付に係る調整額	10	8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△130	438
四半期包括利益	772	1,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	772	1,138
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	12,799	3,826	16,626	—	16,626
セグメント間の 内部売上高又は振替高	983	22	1,005	△1,005	—
計	13,782	3,849	17,631	△1,005	16,626
セグメント利益	869	614	1,483	66	1,549

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去66百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,317	598	14,916	—	14,916	—	14,916
セグメント間の 内部売上高又は振替高	547	—	547	—	547	△547	—
計	14,864	598	15,463	—	15,463	△547	14,916
セグメント利益又は損失(△)	552	130	683	△0	682	△22	660

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、タイ王国に設立した連結子会社 KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. にかかわるものを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去△22百万円が含まれております。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。